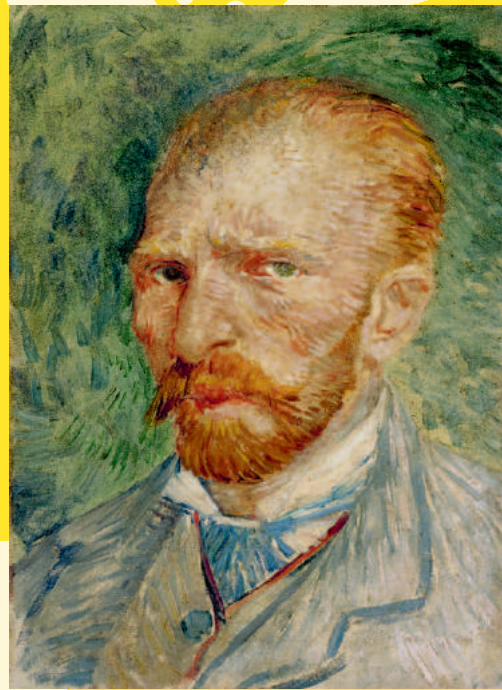


# Van Gogh and Gauguin Reality and Imagination



▲ポール・ゴーギャン《自画像》1885年前半、油彩・カンヴァス  
キンベル美術館 ©Kimbell Art Museum, Fort Worth, Texas

世界中で愛される二人の画家たち。光あふれる、アルルの町で一緒に暮らした2ヶ月。



▲フィンセント・ファン・ゴッホ《自画像》1887年4-6月、パリ、油彩・厚紙、クレラー=ミュラー美術館 ©Kroeller-Müller Museum, Otterlo

# ツボ

2016 10/8 SAT — 12/18 SUN

わたし 私はポール・ゴーギャン

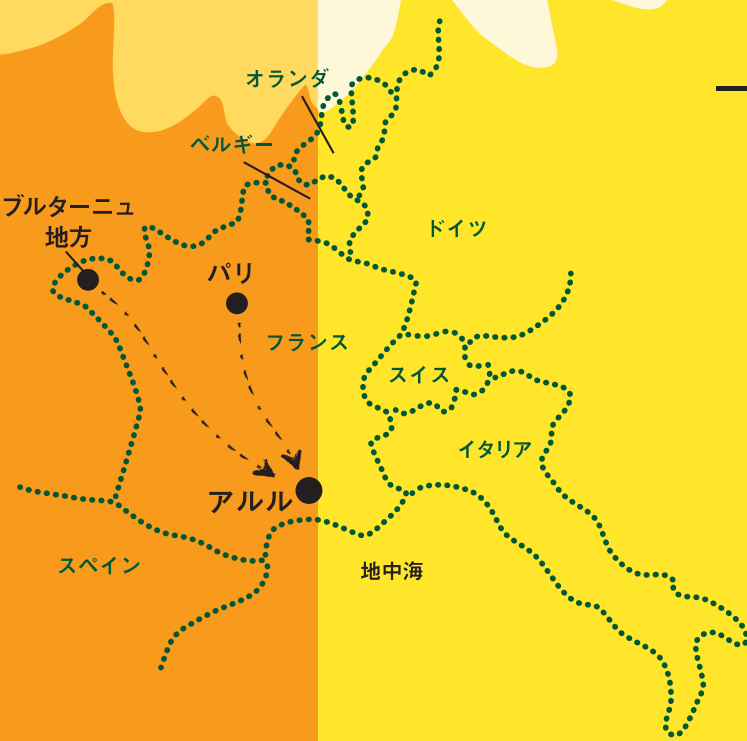
人間が汚していない、自然がそのまま残る世界に憧れていた。だから、遠いタヒチ島まで行って絵を描いたんだ。ゴッホとは、アルルで一緒に暮らしたのはたった2ヶ月だけど、彼が亡くなるまでずっと文通していた。お互いにたくさんの刺激を受けた。

わたし 私はフィンセント・ファン・ゴッホ

光あふれるアルルの町に、芸術家がみんなで助け合って暮らす村を作りたかった。そこでゴーギャンに何度も手紙を書いた。「一緒にアルルで絵を描こう!」と。

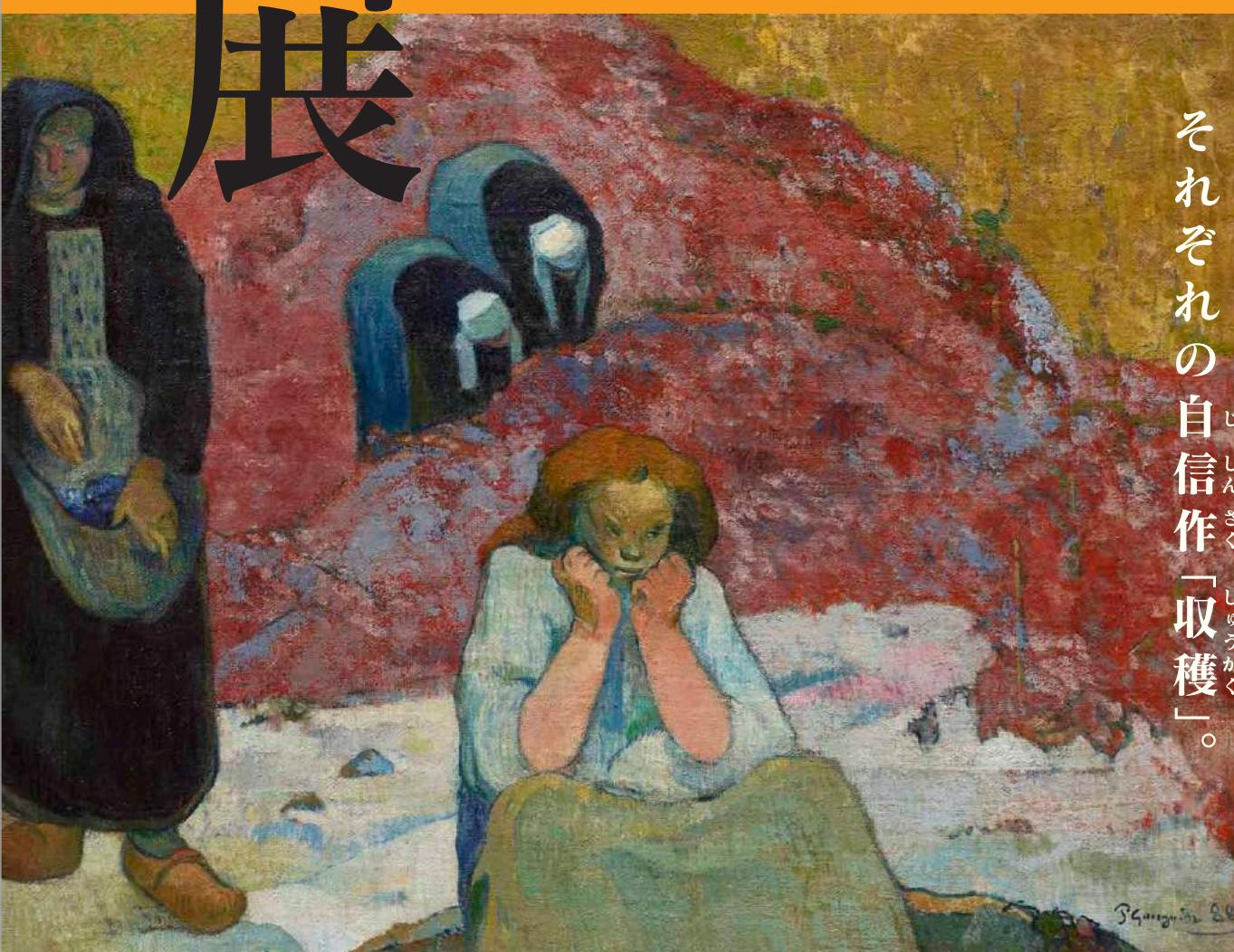
# と

年齢	出来事	
0才	オランダの牧師の家に生まれる。	
16才	画廊で働き始める。	
23才	書店、教師、伝道師など色々な仕事をする。	
27才	画家になることを決心し弟テオに伝える。	
33才	テオの住むパリへ行く。たくさんの芸術家と知り合う。	
34才	ゴーギャンと出会う。	
35才	2月下旬にパリからアルルへ引越し、10月からゴーギャンと、共同生活をはじめ。1年間で200点近くの作品を描く。ゴーギャンとの生活は約2ヶ月で破綻。	
36才	アルル北西のサンレミの療養院に入院しながらも、多くの作品を描く。	
37才	オーヴェール=シュル=オワーズに移り2ヶ月に約70点の作品を制作するが、ピストル自殺をはかる。弟テオに見守られながら息をひきとる。	
1848	0才	パリで生まれ、5才までは南米ベルギーで過ごす。
1865	17才	見習い船員となり世界中の海へ行く。
1872	24才	パリの株取引の会社に勤め、この頃から絵を描くようになる。
1873	25才	メットと結婚し、のちに5人の子供が生まれる。
1876	28才	パリで絵がサロンに初入選。
1883	35才	仕事をやめ、85年に本格的に画家となる!
1887	39才	ゴーギャンと出会う。
1888	40才	10月にブルターニュからアルルへ行き、ゴッホとの共同生活をするも2ヶ月でパリに戻る。
1891	43才	旅費をつかって南の島タヒチへ、病の中制作を続けるが54才で死去。

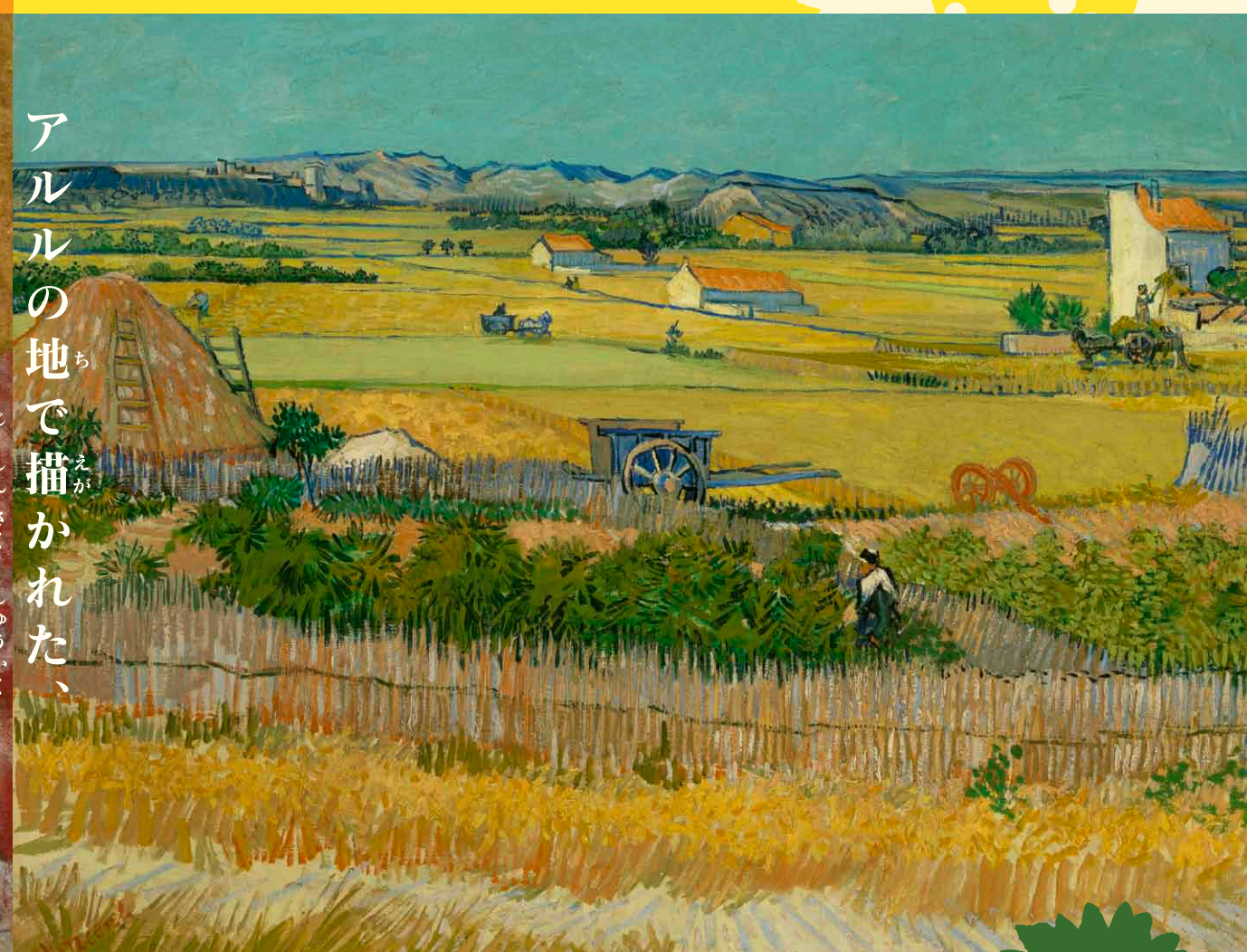


年齢	出来事
0才	オランダの牧師の家に生まれる。
16才	画廊で働き始める。
23才	書店、教師、伝道師など色々な仕事をする。
27才	画家になることを決心し弟テオに伝える。
33才	テオの住むパリへ行く。たくさんの芸術家と知り合う。
34才	ゴーギャンと出会う。
35才	2月下旬にパリからアルルへ引越し、10月からゴーギャンと、共同生活をはじめ。1年間で200点近くの作品を描く。ゴーギャンとの生活は約2ヶ月で破綻。
36才	アルル北西のサンレミの療養院に入院しながらも、多くの作品を描く。
37才	オーヴェール=シュル=オワーズに移り2ヶ月に約70点の作品を制作するが、ピストル自殺をはかる。弟テオに見守られながら息をひきとる。

# ゴーギャン展



ポール・ゴーギャン《ブドウの収穫、人間の悲惨》1888年11月、油彩・ジュート、オードロップ美術館 ©Ordrupgaard, Copenhagen Photo: Anders Sune Berg 「今年描いた最高の絵画だ。乾いたらすぐにパリに送る予定だ」(ゴーギャンの友人宛ての手紙、1888年11月)



フィンセント・ファン・ゴッホ《収穫》1888年6月、アルル、油彩・カンヴァス ファン・ゴッホ美術館(フィンセント・ファン・ゴッホ財団) ©Van Gogh Museum, Amsterdam (Vincent van Gogh Foundation) 「他のすべての作品を完全に圧倒する」(ファン・ゴッホの弟テオ宛ての手紙、1888年6月)

それぞれの自信作「収穫」。

アルルの地で描かれた、

ジュニアガイド

東京都美術館 企画展示室(東京・上野公園) 中学生以下無料  
 開室時間 / 9:30~17:30(金曜日、10月22日(土)、11月2日(水)、3日(木・祝)、5日(土)は20:00) \*入室は閉室の30分前まで  
 休室日 / 月曜日、10月11日(火) \*ただし、10月10日(月・祝)は開室  
 主催 / 東京都美術館(公益財団法人東京歴史文化財団)、東京新聞、TBS  
 観覧料 / 当日 一般 1,600円、大学生・専門学校生 1,300円、高校生 800円、65歳以上 1,000円 \*10月8日(土)から10月30日(日)までの土曜日、日曜日、祝日は高校生無料観覧日(学生証の提示が必要)

お問い合わせ 03-5777-8600 (ハローダイヤル) 展覧会公式サイト <http://www.g-g2016.com/>  
 \*10月15日(土)・16(日)、11月19日(土)・20(日)、12月17日(土)・18(日)は「家族ふれあいの日」により、18歳未満の子を同伴する保護者(都内在住、2名まで)は一般当日料金の半額 \*証明できるものをお持ちください。  
 \*都内の小・中・高等学校の学校教育活動として観覧する場合、引率の教員は無料(要事前申請)  
 10月19日(水)、11月16日(水)はシルバーデーにより65才以上の方は無料。そのため大変な混雑が予想されます。ご注意ください。  
 本展は、政府による美術品補償制度の適用を受けています

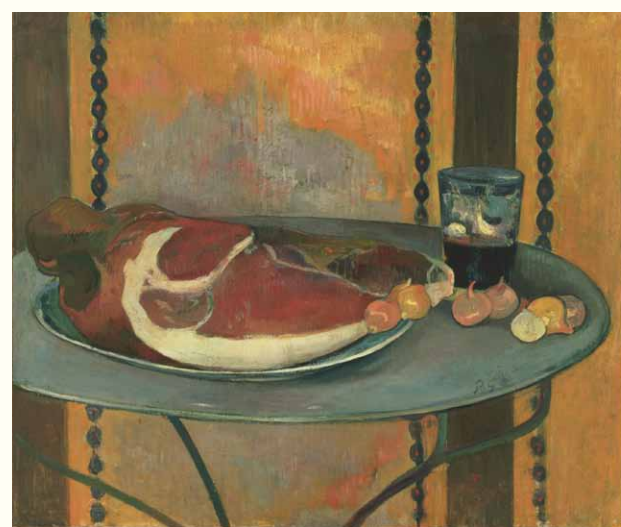
東京都美術館 TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM

# アルルから離れたあとも、ゴッホと ゴーギャンの文通は続いた。

えい きょう 影響しあいながらも、それぞれの道へ。



くら 比べて  
みるよ…



② 《ハム》

ゴーギャンの  
描いたハムは  
おいしそう？



ゴーギャンは見た物をそのまま描くよりも、記憶や想像から描いていくことに挑戦していたんだ。



① 《タマネギの皿のある静物》

黄色、緑の鮮やかな色合い。しっかりとわかる筆あと。パイプ、ポット、コーヒー、書物、手紙、ロウとロウソク。ゴッホの身近にあるものを選んで並べて描いているね。

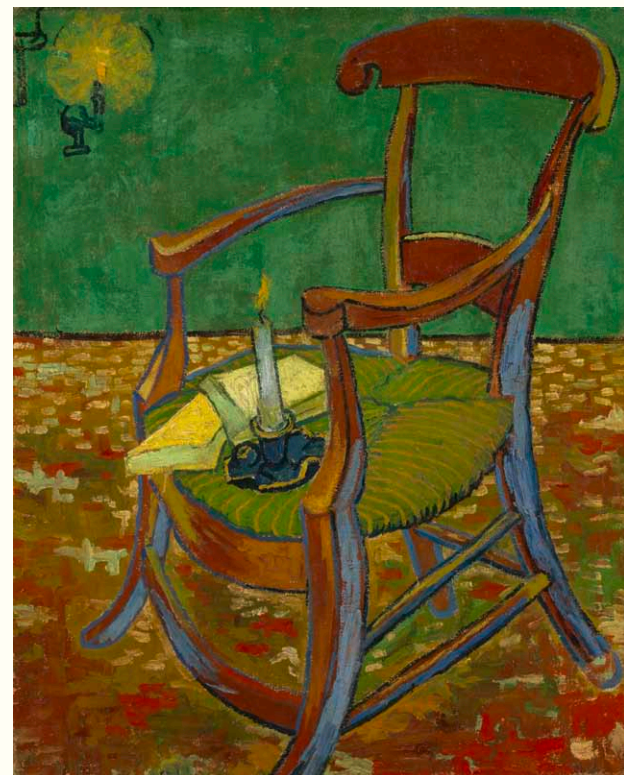


④ 《肘掛け椅子のひまわり》

ゴッホの大好きだったひまわりを、ゴーギャンは遠い南の島まで種を取り寄せて、自分で育てて描いたんだ。ゴッホが亡くなってから11年も後に。



ゴッホはどんな気持ちでこのイスを描いたのかな。



③ 《ゴーギャンの椅子》

ゴッホは尊敬したゴーギャンの顔は1点しか描かなかったけれど、ゴーギャンのイスを描いたんだ。イスの上にロウソクと小説。奥の壁にもロウソクの光がゆらめいているね。



⑥ 《タヒチの3人》

真ん中の人は？  
遠い南の島で描いた作品。右の人はお花を持ち、左の人は緑のリンゴを持っている。



⑤ 《ジョゼフ・ルーランの肖像》

一家でモデルになってくれた郵便夫のやさしいルーラン。ヒゲがぐるぐるのモジャモジャ。背景はポピーやひな菊でかざられているよ。



「絵を描くことに没頭していたけれど、ファン・ゴッホとの生活は、1世紀もの長さを感じられた。だれも気づかない間に、わたしたちは、どちらにとってもためになる、たくさんの仕事をした。」—— ゴーギャン



日々のニュースを勉強する『まなぼう』東京新聞HP「観て学ぶ」コーナーで本展を紹介中！

とびらボードの貸出 見る ↔ 描く もっとよく見てみよう！

この展覧会では作品を見ながらお絵かきができる「とびらボード」を展示会場の入口で中学生以下の方に貸出ししています。じっくりよく見て描くと新しい発見があるかもしれません。会期中にはボードを使ったワークショップも計画！詳細はウェブサイトでお知らせします。

① フィンセントファンゴッホ《タマネギの皿のある静物》1889年1月初め、アルル、油彩・カンヴァス、クレラー＝ミュラー美術館 ©Kroller-Müller Museum, Otterlo ② ボール・ゴーギャン《ハム》1889年、油彩・カンヴァス、フィリップスコレクション ©The Phillips Collection, Washington, D.C. ③ フィンセントファンゴッホ《ゴーギャンの椅子》1888年11月、アルル、油彩・カンヴァス、ファンゴッホ美術館(フィンセントファンゴッホ財団) ©Van Gogh Museum, Amsterdam (Vincent van Gogh Foundation) ④ ボール・ゴーギャン《肘掛け椅子のひまわり》1901年、タヒチ、油彩・カンヴァス、E.G. ヒューレル・コレクション財団 ©Foundation E.G. Bührle Collection, Zurich ⑤ フィンセントファンゴッホ《ジョゼフ・ルーランの肖像》1889年2-3月、アルル、油彩・カンヴァス、クレラー＝ミュラー美術館 ©Kroller-Müller Museum, Otterlo ⑥ ボール・ゴーギャン《タヒチの3人》1899年、油彩・カンヴァス、スコットランド国立美術館 ©Scottish National Gallery

美術館の展示室でのルールを守ってね！

1. 展示室では走らない。
2. メモを取るときはエンピツで。
3. 作品にさわらないでね。
4. 話すときは静かな声で。